

PACSの今とこれから

画像サーバーを各施設で運用・管理するオンプレミス型PACSは、これまで多くの医療機関で主流のシステムとして採用されてきました。しかし、インターネット技術の進化を背景に、外部サーバーを利用するクラウド型PACSも現実的な選択肢の一つとなっています。さらに、AIによる診断支援との連携も深まりつつあり、PACSの選択において重要な要素の一つとなっています。増加し続けるデータとAIの進展に伴い、PACSは今後どのように進化していくのでしょうか。皆さんと共に、その未来を考えてみたいと思います。

開催日時：2024年11月7日（木）

19：00～20：45（18：45よりon line）

事前申込あり

申込期間：2024年10月14日（月）～11月5日（火）

※詳細は東京支部HPをご覧ください

※自然災害などによる開催についてはHPをご確認ください

プログラム

1. PACSの今
オンプレミス型PACS キヤノンメディカルシステムズ（株） 見寄 智行
クラウド型PACS PSP（株） 中出口 拓海
2. 最先端AIへの取り組み
キヤノンメディカルシステムズ（株） 梅田 祐司
PSP（株） 市川 敦規
3. 意見交換：PACSのこれから

開催形態 Zoomによるオンライン実施
(事前参加登録者にURLとパスワードを配信します)

申込方法 <https://service.jsrt.or.jp/>
会員システム「RacNe（ラクネ）」にログインしてお申し込みください
尚、キャンセルされた場合、返金できないことご了承ください。

参加費：会員 500円 非会員 2,000円 学生会員 無料 学生非会員 無料

問 合 先 ● 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 医療情報研究班
jsrt.tokyo.joho@gmail.com

東京支部HP ● <https://jsrt.tokyo/>